

3月14日（土）に、曾谷公民館で第9回国分川調節池を育む会を開催しました。
今回の育む会では、今まで検討してきました事項をまとめた国分川調節池上部利用イメージ図（案）により、検討を行いました。
毎回、『育む会』で行われた内容等については当会報でお知らせします。

1. 国分川調節池上部利用イメージ図（案）の考え方について

これまでの育む会における検討の結果は次のとおりです。

（1）全体の考え方

- ①治水機能の確保を前提とした上部利用を進める。
- ②利用者の安全対策を第一に考慮した上部利用を進める。
- ③河川水流入後、速やかな復旧が可能となるような施設整備を行う。
- ④周辺住民や学校、交通の状況等に与える影響に配慮した利用を進める。
- ⑤市川市自然環境保全再生指針に基づいた生物多様性の保全・再生に配慮した利用を行う。
- ⑥可能な限りユニバーサルデザインを導入する。
- ⑦自転車、歩行者の利用、ジョギングコースとして利用可能な河川管理用通路の整備を行う。

（2）自然復元ゾーン

- ①野鳥等の観察を主な利用形態とし、観察スペースを設置する。
- ②基本的に人の出入りは禁止。ただし、観察目的団体の利用は可能とする。
- ③外周は低木で囲む。

（3）自然ふれあいゾーン

- ①「水の流れ」をテーマとして自然観察、自然散策、環境学習を主な利用形態とする。
- ②散策・休息ゾーンとの関連性（連続性）に配慮した園路の配置を行う。

（4）多目的利用ゾーン

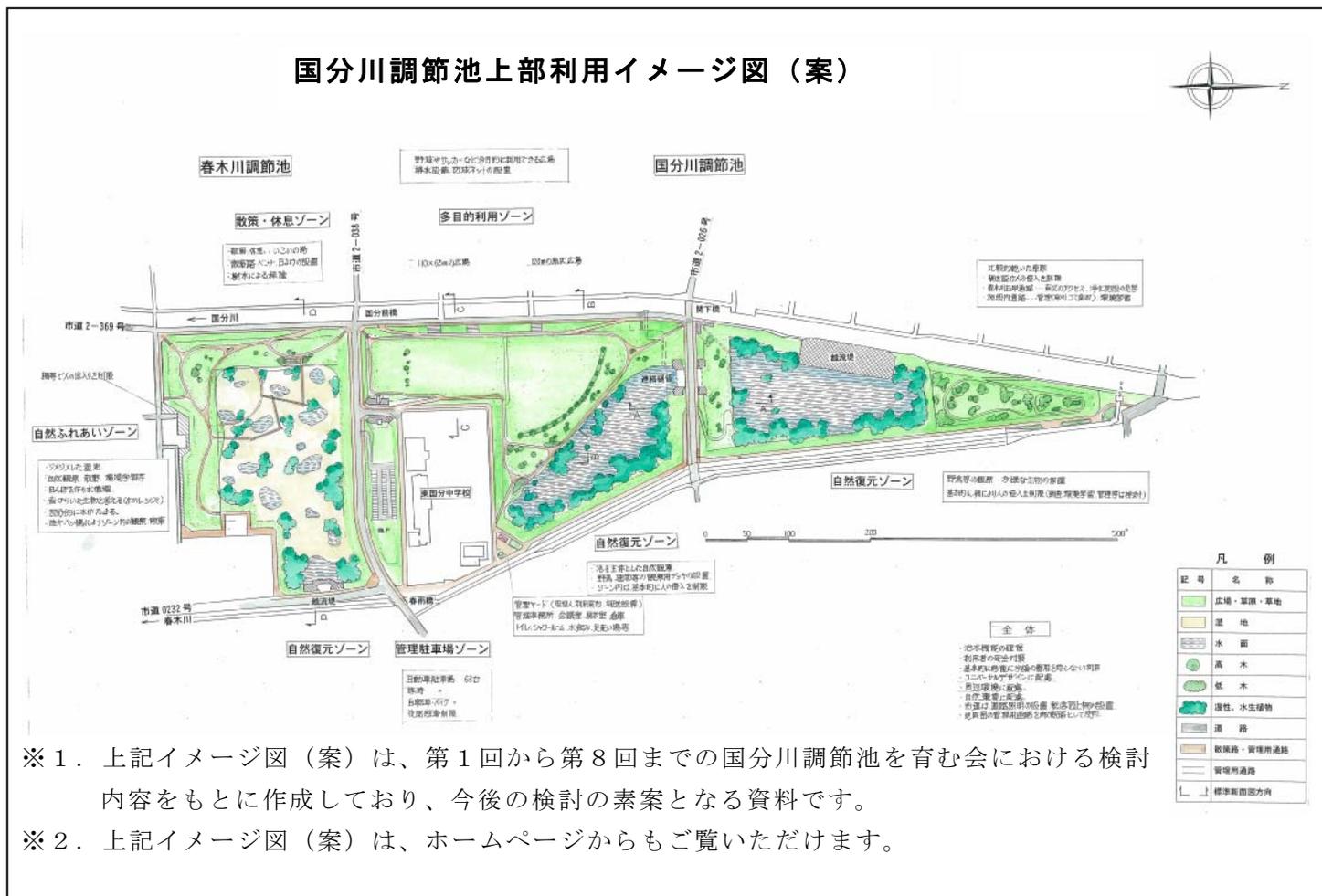
- ①野球やサッカー、各種イベントなど、利用可能な種目を限定せず多目的な利用を行う。
- ②防球ネット、用具倉庫の設置が必要となる。
- ③スポーツを見学するスペースを設ける。

（5）散策・休息ゾーン

- ①段差のない、また一直線ではない園路を整備する。
- ②あずまややベンチなどの設備は必要最低限とし、緑陰樹なので休息機能を担う。
- ③国分川調節池下流池南側のゾーンは、多目的利用ゾーンとの一体利用を図る。

2. 国分川調節池上部利用イメージ図（案）について

国分川調節池地上部利用イメージ図（案）の考え方にに基づき、下記のとおりイメージ図（案）としてまとめ、会員の皆様から御意見を伺いました。



- ※ 1. 上記イメージ図（案）は、第1回から第8回までの国分川調節池を育む会における検討内容をもとに作成しており、今後の検討の素案となる資料です。
- ※ 2. 上記イメージ図（案）は、ホームページからもご覧いただけます。

会員の皆様からいただいた主な御意見

- ・市道沿いに並木を作れないだろうか。
- ・スポーツの見学スペースを増やしてほしい。
- ・管理棟は駐車場の横に設置出来ないだろうか。

今回の育む会は、これまでの育む会で検討してきた事項を、「文字」から「イメージ」としてまとめ、検討を行いました。会員の皆様には、今までの検討の成果を具体的にみる事が出来たのではないかと思います。今後は、このイメージ図（案）を基に、今回いただいた御意見を踏まえ、管理・運営面も含めた詳細な検討に入っていく予定です。

第10回『育む会』については、日時や場所が正式に決まり次第、会員の皆様に御連絡申し上げます。

「国分川調節池を育む会」は、現在千葉県が事業を進めている国分川調節池の上部利用について、市民の皆様と行政が協働で検討・実行することを目的として設置されました。

※ご連絡先

市川市水と緑の部 水と緑の計画課
 〒272-0021 市川市八幡4丁目2番1号（八幡分行舎）
 市川市ホームページもご覧下さい！
 「国分川調節池を育む会」で検索して下さい。

国分川調節池を育む会

検索